

スカラ株式会社が電子瞳孔計を使用して “いじめ防止対策”プロジェクトを支援

いじめ対策を研究する東京大学は、いじめの早期発見に役立つ機器として、スカラ株式会社の開発した電子瞳孔計を利用したプロジェクトを立ち上げます。

現在、学校では、「いじめ対策」が大きな課題となっています。平成25年には「いじめ防止対策推進法」が文部科学省から公布され国を挙げていじめ対策に取り組んでいます。

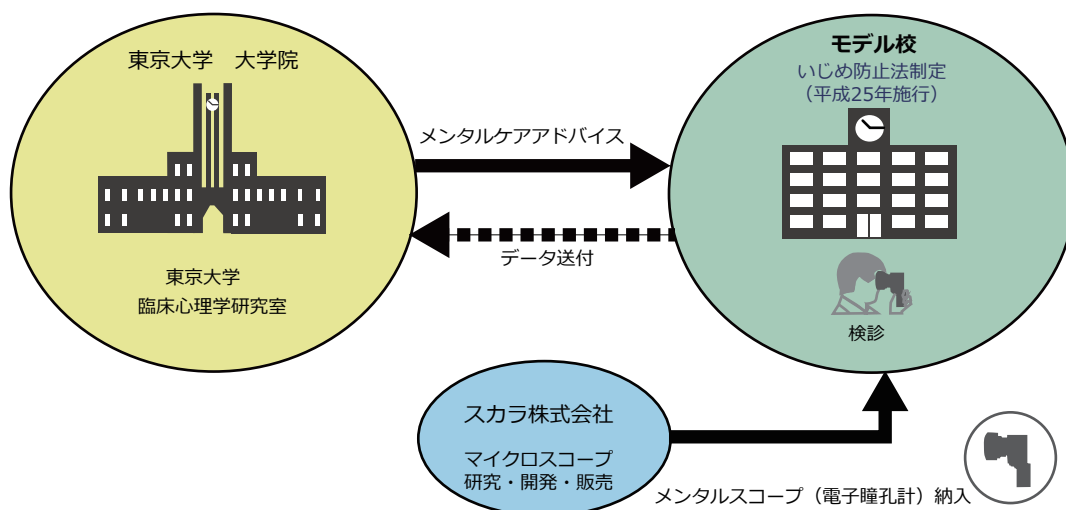
東京大学・臨床心理学研究室では、「子供の逆境体験が、成人の心身の健康に及ぼす影響に関する継続的コホートの比較研究」をテーマに、いじめ早期発見・対応を研究しています。当研究室は児童・生徒の不安やストレスを推し量る手段として、スカラの電子瞳孔計に着目しました。

スカラの開発した電子瞳孔計は**操作が簡単**(測定時間は1人約6秒)で軽量な上、検査者の**資格を問いません**。学校内で計測したデータを東京大学大学院・臨床心理学研究室で分析し、そのデータを基に学校の指導者もとの、児童・生徒・学生にメンタルケアのアドバイスができます。

スカラ株式会社はマイクロ스코ープのパイオニアとして、産業・美容・医療・放送・学校教育分野で製造開発に携わっている会社です。

電子瞳孔計は**瞳孔の面積や直径の計測、光刺激による瞳孔の対光反応の計測**を行います。被験者の瞳孔は不快・緊張・恐怖などを反映します。児童・生徒が持つ**不安感・緊張感・恐怖感**など、いじめの兆候を**数値化**し、いじめの早期発見対策に役立てることが、このプロジェクトの目的です。

“いじめ防止対策”プロジェクトチーム参加モデル校を募集しています。



●お問合せ
スカラ株式会社
〒160-0023 東京都新宿区西新宿1丁目22番2号 新宿サンエービル
TEL:03-3348-0181 担当:生田(しょうだ)携帯:080-8871-8539
FAX:03-3348-0188
<http://www.scalar.co.jp>